

かっぱ通信

2014年2月16日

vol. 101

春の気配感じた
いけど...号

発行 北川かっぱの会
<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2/22(土) かっぱの会の総会を開催します



報告 かっぱ通信100号発行記念「祝賀会」

1月25日(土)夜、東村山駅前「サンパルネ」コンベンションホールで、「かっぱ通信100号発行記念祝賀会」を開催しました。当日は市役所や西武・狭山丘陵パートナーズ、市内のボランティア団体、北川かっぱの会の関係者など、約80名が集いました。

当日は北川かっぱの会の清水から「北川かっぱの会のこれまでとこれから」と題したプレゼンテーションを行った後、東村山市長渡部尚様、かっぱの会の魚応援団君塚芳輝様、西武・狭山丘陵パートナーズ統括所長植木孝行様よりご祝辞をいただきました。乾杯の発声は東村山市みどりの市民会議会長の和田安希代様をお願いし、祝宴へと移っていきました。祝宴では北川かっぱの会のこれまでの18年間をスライドショー形式で放映し、後半のライブでは、トビー岩崎、ウーロン中谷、梅田・

河野バンドのライブもあり、大いに盛り上がりました。祝賀会は終始なごやかな雰囲気、想像していた以上に参加者同士の様々な繋がりを感じさせてくれました。今回、北川かっぱの会に関係する様々な団体の方にご参加いただき、今後の北川流域、いや市内や狭山丘陵のみどりや水辺の保全をさらに強力に推進するきっかけとなったのではないかと思います。

祝賀会を迎えるのに当たり、NPO「birth」の方々からは豪華なお花が、また、多数の方から寄附や差し入れを頂戴しました。どうもありがとうございました。そして、祝賀会のために事前準備や会場設営、受付や司会を行っていただいた方々、その他たくさんの方々のご協力をいただき祝賀会は成功裏に終了することができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

北川かっぱの会はかっぱ通信 200 号の発行を目指し、これからも地域のみどりや水辺の保全に取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

100号記念アンケートから(続)

活動での思い出、印象に残っていること

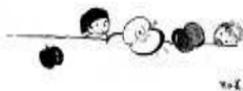
会設立の頃、A 5 版のニュースレターに驚きました。今までになかったので(佐藤留美)
川が少しづつきれいになってきたこと、夏まつりやクリパなどのイベント(yas) 生き物とふれあった時の子どもたちの笑顔(ビー永島)
これからの活動に対する期待 川の落差の解消、全戸に雨水浸透枘の設置(君塚芳輝)
子どもや市民対象の観察会(yas) 北川方式の全国の広がり(匿名) その他要望など
若者の参加の増加(君塚芳輝) 楽しみながらみんなで頑張りましょう(ビー永島) 会費だけの応援ですが、かっぱ通信楽しみにしています(匿名)

2014年の活動

方針等についてご意見を

北川かっぱの会では、2月22日(土)16時より廻田公民館で総会を開き、2013年の活動総括や決算、2014年の活動方針、予算案などについて議論する予定です。2014年の活動方針では、以下の項目を中心として議論を進める予定です。会員皆様の参加をお待ちします。

北山公園で通年で水確保策や北川の落差工の解消策
外来生物(アカミミガメ、ウシガエル、オオフサモなど)やコイの防除策
トウキョウダルマガエル等の絶滅危惧種の保護策
各イベントでのボランティア募集の具体策
市民に対して訴求力のある情報発信方法
より若い世代が活躍することのできる組織体制



かっぱの楽校 生き物講座 71

北川の新しい仲間 カマツカ(コイ科カマツカ属)

ここ数年の事です、我らが北川で以前は見かけなかったカマツカという魚を見かけるようになりました。分布は岩手県、山形県以南の本州、四国、九州なので、本来は生息していてもおかしくはありません。体長 15 ~ 20cm ほどの細長い体で、吻の下には 1 対のヒゲがありユーモラスな表情です。この魚はきれいな水の中流域の砂底に生息し、水生昆虫等の底生の小動物や有機物を砂ごと吸い込み、砂だけをエラから吐き出して食事をします。また、人間や天敵の気配を感じるとすかさず砂の中にもぐります。その習性から「スナホリ」、「スナムグリ」、「スナモグリ」などとよばれる事もあります。僕



は子供の頃、九州の田舎でこの魚を釣っては、塩焼や空揚げにしてよく食べました。淡泊な白身でとても美味しい魚です。今までは、北川で見かけなかったカマツカですが、どこからやってきたのか、それとも他の支流から戻ってきたのかは解りませんが、北川は綺麗な水を好む魚が居る川である事は確かですね！これからもずっと、もっとそうであって欲しいと願います！（ヒゲかっぱ中谷）

報告 井の頭池かいぼりに参加

1/25 (土)、26 (日) に開催された井の頭池のかいぼりに北川かっぱの会 2 名と会の魚応援団の君塚さん、飯島さんとともに参加しました。また、来るべき狭山公園での「かいぼり」に備え NPO birth の 3 人も一緒に参加し、魚の捕獲や計測などについて体験していただきました。

初日の午前は大漁で大型のコイやソウギョなどたくさん捕獲することができました。2 日目午前は

中型のオオクチバスやブルーギルなど、午後は弁天池近くで小型のブルーギルを手網で多数捕獲することができました。在来魚が予想以上に少なかったことと、カメ類がどこかに隠れてあまり捕獲できなかったのが残念でした。2 年後にはまた「かいぼり」が予定されているようです。今回、参加することができなかった皆様方、次回是一緒に楽しみに行きましょう。

次頁左下に写真

報告 川端会議

2月1日(土)「北山公園整備計画意見交換会(通称;川端会議)」が開かれました。今回は参加人数がやや少なかったものの内容の濃い意見交換がなされました。以下、主な内容を紹介します。

現在、北山公園整備計画の基本方針について見直しを行っています。その中でトウキョウダルマガエル等の在来生物を守っていくために、通年での水確保が大きなテーマとなっています。水を確保していくために市から浅井戸の設置について検討している旨の話もありましたが、他にも将来にわたり水田を守っていくこと(例;市民ボランティアで水田での作業を行う、冬水たんぼにする等)や、雨水を貯留する場を設ける(例;北山小に降った水を集める等)等について意見が集中しました。なお、1月18日に開催された八国山わいわいミーティング(西武・狭山丘陵パートナーズ主催)では、北山公園内にわずかに生息するトウキョウダルマガエルについて、八国山内の湿地で分散して保護することができないかどうか議論を始めたいという意見も出ています。

また、北川の落差工を解消し、北山公園まで東京湾の魚が遡上しやすくなる環境づくりについても、何らかの形で整備計画の中に盛り込んではどうかという意見も出ました。

北川クリーンアップでは、参加者を増やしていくために、自治会への継続的な働きかけの他、中学校(生徒の自主的なボランティア活動への参加を期待)や少年の野球、サッカークラブ等への声かけ、一般企業への声かけなどが有効なのではないかなどの意見が出されました。

北川かっぱの会が提案し検討を行っていた「北川ルール」については、年度末を目途にイラスト入りの看板を要所要所に貼っていく方向となりました。

井の頭池でのかいぼりの様子(前頁参照)



報告 北川かっぱの会の活動が東京新聞の記事に

北川かっぱの会の活動が12月11日付け東京新聞(多摩版)で紹介されました。これは、かっぱ通信100号の発行を機に取材を受けていたもので、会の活動状況がコンパクトに紹介されました。



これまで「発行した」「かっぱ通信」を並べて通第100号の節目を祝う代表の清水さん(右から2人目)と会員の「いずれも東村山市で」

北川の中流部。かっぱの会が活動が始めたころに比べると、水質は大幅に改善した



北川は多摩湖近くの狭山公園内にある池を源流に、前川へ合流するまでの住宅地約4kmを流れる。高度経済成長時には生活排水で汚染され、どろりとした。令和元年、前川市が「北川」を再生する事業が実現した。落差も一部で実施されるなど、ハード面で市と協働

市民の憩いの場に再生

会が力を入れているのは、在来種に悪影響を与えるブラックバスなど外来種の駆除と、魚道新設の働き掛けだ。前川との合流地点辺りまではアユの遡上が確認されており、魚道ができればアユが住む川になるのでは、と期待が大きい。会員は随時募集している。問い合わせは会事務局のEメール: CA112321@nifty.ne.jp <

東村山の市民団体

会報が通算100号に

北川の環境保全に取り組み18年

東村山市を流れる「北川」の環境保全に取り組む市民団体「北川かっぱの会」の会報「かっぱ通信」が、通算百号の節目を迎えた。会の発足から十八年での達成だ。当時に比べて川の環境は改善し、市民が憩う場として再生を果たした。会員たちは「百号を目指し、これからも続けたい」と意気込む。

(小松田健一)



した実績もある。下水道整備も進んで水質は次第に改善。現在はドジョウやオイカワ、トウヨシノボリなどの魚類が生息する。会報はB6判ハ十二ページの小冊子で、写真やイラストを使いながら活動内容を記す。毎号千部を印刷し、市図書館や公民館、市内小中学校へ配布している。

報告 南台・富士見小土曜講座 水のふしぎ探検隊 「野鳥を見よう：空堀川」



11月2日、総勢10人程が参加して空堀川で鳥たちとの触れ合いを楽しみました。今年は暖かい中でカモたちを見ようと、例年より1ヶ月程早い実施としました。

まず、中央公園で双眼鏡の使い方など、野鳥観察の基本的なことを学んで出発です。いつもはここでも雑木林に何種かの鳥たちが見られるのですが、今年はほとんど見かけません。

空堀川に到着すると、なんとカモたちが全くいません。川の水が少なめだったからでしょうか？ハクセキレイだけは「東村山の鳥」らしく、たっぶり姿を見せてくれましたが、全体に鳥たちの姿は非常にさみしいものとなりました。

おまけに風も結構冷たく、私も含めてもういやという感じの残念な講座となってしまいました。

(ビー永島)

報告 水のふしぎ探検隊 「野鳥を見よう：八国山」

1月11日、総勢10人程が参加して八国山・北山公園で鳥たちとの触れ合いを楽しみました。一週間前の下見やいろんな情報からも、八国山だけでなく首都圏全般に冬鳥が少なく、今シーズンはいったいどうしたんだろうと話題になっていました。

八国山に入るとアオジ、エナガはじっくり観察できましたが、他の常連的な鳥たちはどこにいるのでしょうか？

でも、比較的暖かい日だったので、子どもたちはお昼休みにアスレチック的に盛り上がってくれました。

北山公園にやって来るとようやく鳥たちが姿を見せてくれました。しょうちゃん池にはマガモがやたらにいて、緑に輝く姿をドアップで堪能できました。そして、カワセミは期待を裏切りません。この日もしっかり最後を締め

てくれました。
(ビー永島)



報告せせらぎの郷多摩湖緑地 ワークショップに参加しました

12月1日(日)、東村山市と東村山の原風景を守る会主催の標記会議に参加しました。当日は市民24名ほどの参加がありました。

午前中は現地観察と落葉かき作業、午後は「里山のあるべき姿」として、この緑地の魅力やこんなことが「したい」、「できたらいいね」を参加者一人一人が出し合い、付箋紙に記載し分類、まとめるという作業を行いました。これによりこの緑地についての特性や姿が整理できました。一方、トイレの設置など従来からの懸案事項が進



まぬことへの不満も再提起され、整備計画の作り方、仕組み作り、予算処置などが進まない現実が見えたワークショップでした。(遊)

原風景を守る会 活動日程 多摩湖町自治会集会所集合

3/2,4/6(日) 毎月第1日曜日 9:00~12:00

3/15,4/19 第3土曜日 13:30~15:30ごろ

作業内容：落葉集め、ジャガイモ植えつけなど 集合場所：畑



2014年2月~4月 活動スケジュール

ホ は **ボランティア募集** の略
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かっぱの会)
または直接会員にお知らせください

かっぱ総会 2/22(土)

16:00~18:00 廻田公民館

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

3/8、4/12(土)

集合：北山小正門前 **ホ**

かっぱ定例会

3/23(日)11:00~12:00 北山公園(雨天時は茫々亭)、6月頃までの活動について検討します。

北山公園しょうちゃん池のアカミ

ミガメ駆除作業 **ホ**

4月末~10月 月1回程度

カゴ網を仕掛け、翌日回収する作業。未経験者も大歓迎。

春のうららかウォーキング **ホ**

3/23(日)9:00~10:30東村山駅西口
当日受付 西武・狭山丘陵パートナーズ主催 北山公園 八国山 雑木の森 多摩湖堰堤 東大和公園 狭山公園を回る約10kmのウォ

ークです。

北川かっぱの会ではミニ水族館を展示したり、北山公園や北川のガイドを行います(9:20-10:30頃)「八国山・北山公園・観察ガイド」も配布します。

ホ 魚の捕獲や展示、解説など

寄付金に深謝

沙羅の会様 4,600円

(祝賀会)小林寛治様 10,000円、田中自動車様 5,000円、青木建設様 5,000円、birth様 お花、大江泰成様 ワイン

新会員登場

杉山俊也さん(東村山市)

斉藤 創さん(羽村市)

金本敦志さん(所沢市)

北川かっぱの会 会議日程

2月22日(土) 16:00~18:00

総会 廻田公民館

3月23日(日) 11:00~12:00

定例会 北山公園(雨天時は茫々亭)

DINING MOGU MOGU 紹介

会員の「シゲ」こと萩原繁郎さんが飲み屋さんを始めました。本誌持参の方は初回ドリンク1杯無料とのこと。

TEL: 042-403-6553

編集後記

昨年はかっぱ通信年4号体制でしたが、紙面がぎゅうぎゅうで年5号体制に戻します。200号への道が5年縮まり20年先になります。そのころには川がほんとにきれいになって欲しいものです。

(遊星歯車)



かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

会費 年間3000円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

会費振込先

[郵便振替 00120-6-104476]

[りそな銀行東村山支店

(普)3605694]

加入者名 北川かっぱの会

かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

北川かっぱの会刊行物



『未来の川へ・北川復元プラン』北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000円 送料 390円
『北川流域マップ - 未来の川へ - 』北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価 200円

『八国山・北山公園の生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説です。観察会などイベントで無償配布しています。

発行:北川かっぱの会

連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp